

日語女性描寫形容詞「～い(女)」探究

賴錦雀

東吳大學日本語文學系

中文摘要

我們由使用的語言可以探究某個民族・社會的特質、思考模式和價值觀。日語中，形容詞的語詞數量比形容動詞少，但是使用次數卻比形容動詞多；而且，大部分形容詞為和語，更能表現出日語傳統的特質。因此，本論文以「-い女」為考察對象，經由探討和「女」(包含「女性」「女孩子」)字一起出現的日語形容詞來探究日語中的女性描寫情形。考察結果顯示：日語女性描寫形容詞以含貶抑語意者居多，描寫重視容貌和姿態，尤其以「若・美・良・可愛・新」為其描寫焦點。

關鍵字：日語，形容詞，女性描寫，語價，女性觀



Japanese adjective of female description in “-i onna”

Lai, Jiin-chiueh

Department of Japanese Language and Culture, Soochow University, Taiwan

Abstract

The language shows the characteristic, the thoughtway, and the sense of values of the society. This paper is consideration of the female description in Japanese by the adjective that co-occurs with “onna”. The adjective in Japanese is considerably fewer than the verb-adjective in the number. However, the use frequency is much more than the verb-adjective. And, the most is “wago”. Because the most is Japanese, the thoughtway of Japanese race is shown more than “kango” “gairaigo”. It is understood that the features figure is paid to attention most in the female description in Japanese as a result of consider. It is judged that the female criterion of a Japanese society is “wakai, utukushii, yoi, kawaii, atarasii” because there are a lot of expressions by these words.

Key Words: Japanese, adjective, female description, evaluation, view on woman



女性描写における日本語形容詞 — 「～い女」を中心に —

賴錦雀

東吳大学日本語文学系

要 旨

ある社会、民族の特質、思考様式、価値観は、その使用言語によって表わされることが常である。本研究は、「女」と共起する形容詞によって、日本語における女性描写について考察したものである。日本語における形容詞は数において形容動詞よりかなり少ないが、使用回数が形容動詞よりずっと多い。そして、その殆どが和語なので、漢語や外来語由来のものが多い形容動詞に比べて、もっと大和民族の思考様式を表わすかと思われる。考察した結果、日本語による女性描写では、容貌・姿態が一番注目されていることが分かる。「若い、美しい、良い、可愛い、新しい」による表現が多いことから、日本語社会の女性評価基準は「若・美・良・可愛・新」である、と判断される。

キーワード：日本語、形容詞、女性描写、評価、女性観



女性描写における日本語形容詞 —「～い女」を中心に—

1. はじめに

言語は社会、民族と密接な関係がある文化である。ある社会、民族のさまざまな性質、特徴は、その使用言語によって表わされることが常である。その言葉を見れば、その社会構造の特質、あるいはその社会で生活している者、特にその社会を支えている人々の思考様式、価値観などが分かることが多い。本稿は、日本語形容詞表現の考察を通じて、女性に対する日本社会の考え方への理解を深めるのが目的である。

1975年国連の「国際婦人年」以降、1975年に婦人問題企画推進本部設置、1994年に男女参画室設置、2001年に男女参画局設置などの日本政府の政策¹を見て分かるように、日本は男女平等が実現されるために、いろいろ企画してきた。また、1979年に女性学研究者によって「日本女性学会」が、1997年に男女両性の研究者によって「日本ジェンダー学会」が創設され、学際的・国際的なジェンダー研究が進められている²。その関係か、日本では1970年代の後半以来、ジェンダーに関する日本語関係の論述が増え、『フェミニスト』が1977—1980年に発行され、日本女性学会会誌『女性学』が1992年に発刊されてきた。いろいろな論述のうち、女性を表わす言葉とか女言葉、言葉における性差別についての論点が少なくない。例えば、寿岳章子著『日本語と女』(1979、岩波書房)、ことばと女を考える会編『国語辞典にみる女性差別』(1985、三一書房)、上野千鶴子編『きっと変えられる性差別語

¹ 日本国内閣府男女参画局ホームページ (<http://www.gender.go.jp/index.html>) 参照。

² 『女性学』創刊号、日本ジェンダー学会ホームページ (<http://www.s.fpu.ac.jp/tukamoto/gender.htm>) 参照。



—私たちのガイドライン』（1995、三省堂）、井出祥子編『女性語の世界』（1997、明治書院）、現代日本語研究会編『女性のことば・職場編』（1999、ひつじ書房）、遠藤織枝編『女とことば—女は変わったか 日本語は変わったか』（2001、明石書店）はその例である。台湾でも、呼称（賴錦雀「日語稱呼的文化」1999）、性差（林玉恵「日中語彙にみる性差別語」2006）などから性別による日本語の使い分けについての考察が見られる。

本稿は女性描写に絞って、「女」（「女性」「女の子」を含む）を修飾する形容詞（「い」の形で連体修飾語になるもの）表現を対象に、日本語における女性像を明らかにするのがねらいである。日本語における形容詞は数において、形容動詞（「な」の形で連体修飾語になるもの）より少ない³が、話し言葉において使用頻度が形容動詞より高い⁴し、その殆どが和語⁵なので、漢語や外来語由来のものの多い形容動詞⁶に比べて、大和民族の古来伝承されてきた思考様式をもっと表わしていると思われる。

³ 『国説日本語』（73頁）によれば、『日本国語大辞典』（初版）の見出し語では形容詞が4381語、形容動詞が4760語あるが、『現代雑誌九十種の用語用字III』によれば、雑誌の異なり語数では形容詞は409語、形容動詞は1050語ある。

⁴ 『国説日本語』（77頁）によれば、話し言葉の品詞においては形容詞は5.4%、形容動詞は2.4%である。

⁵ 日本語の形容詞は漢語由来。「漢語+和語」由来の「四角い、しんどい、催促がましい、鬱陶しい、印象深い、茶色い」、外来語由来の「ナウい」、「外来語+和語」由来の「バタ臭い、ゴム臭い」などもあるが、賴（1996）によれば、考察対象の形容詞895語のうち、和語が780語を占めている。

⁶ 『国説日本語』（79頁）によれば、新聞とニュースにおける形容詞と形容動詞の割合及び形容動詞の語種の比率は次のようである。

形容詞	形容動詞			
	全体	和語	漢語	外来語
新聞（1966）	58.3%	41.7%	21.7%	76.0%
テレビニュース（1967）	60.4%	39.6%	28.1%	71.8%
テレビニュース（1977）	54.3%	45.7%	30.1%	69.7%
ニュース・ニュー（1976-1978）	67.8%	32.2%	31.2%	68.2%
				0.6%



2. 考察対象・資料

本稿では、日本語における女性観を明らかにするために、「女」(「女性」「女の子」を含む)と共に起する形容詞表現を考察対象とする。人物描写において、ただ形容詞だけでは意味不明の場合が考えられるので、本研究では、「心が広い、腹が太い、了見が狭い、頭が高い、腰が高い、頭が低い、腰が低い」などのような形容詞による慣用句も形容詞表現と見なして、考察対象に入れれる。なお、「かなわない、やりきれない」など普通、日本の国語辞典で「連語」とされた語も、『現代形容詞用法辞典』(飛田良文・浅田秀子、1991)を参照に形容詞と見なすことにする。そして、異なり語数を計算するときは、「若くない」などの否定形は評価性の場合を除いて、その基本形と同じように見なし、1語とする。

本研究の考察資料として使ったコーパスは以下のようである。

(1) 西鉄提供ラジオ番組土曜ドラマ館シナリオ (以下、ドラマ)

西鉄提供ラジオ番組のホームページ (<http://www.nishitetsu.co.jp/nnr/inf/drama/>) では 1997—2005 年分の土曜ドラマ館のシナリオ(計 409 本)が検索できるが、それを話し言葉の資料として本稿の考察対象に入れた。

(2) 東吳大学日本語コーパス

東吳大学王淑琴氏によって構築された日本語コーパス(jp.idc.scu.edu.tw)における「新潮文庫の 100 冊」、「小松左京コーパス」、「毎日新聞」、「CASTEL/J」などを考察対象にした。「新潮文庫の 100 冊」(以下、新潮)は新潮社で出版された 100 冊の小説によるコーパス(1995 年発行)で、「小松左京コーパス」(以下、小松)は作家小松左京の作品で、「毎日新聞」(以下毎日)は『毎日新聞』2001-2004 年分の内容である⁷。そして、「CASTEL/J」(以下、C J)は日本語教育支援システム研究グループが 2000 年に発行した教材テキストデータベースであるが、収録された著作物は『タテ社会の人間関係』(中

⁷ 『毎日新聞』2004 年分は劉怡伶氏の提供によるものである。



根千枝、講談社、1967年)、『日本人の意識構造』(会田雄次、講談社、1972年)、『北日本新聞』(1993年)、『平成3年度日本語能力検定試験問題』(日本国際教育協会・国際交流基金、凡人社、1992年)、『JAPANESE FOR YOU』(大曾美恵子・小山揚子、大修館書店、1988年)など49種類ある。

なお、人物描写の全貌を明らかにする必要があると思われるので、大野晋・浜西正人『類語新辞典』(1981、角川書店)を参照に次節のように整理してみた。

3. 人物描写に使われる日本語形容詞

本節では、まず日本語における人物描写に用いられる形容詞表現について触れたい。普通、人物描写では外見、姿態、物事に対する身振り、他人に対する態度、性格、才能、生い立ちや社会的地位、心理などが注目されよう。本研究では、大野晋・浜西正人『類語新辞典』を参照に、人物描写の日本語形容詞表現を次のように分けて考えてみたい。(1)容貌・姿勢を表わすもの(2)体格・体力を表わすもの(3)身振り・態度を表わすもの(4)対人態度を表わすもの(5)性格を表わすもの(6)才能を表わすもの(7)社会地位を表わすもの(8)感情を表わすもの(9)人間関係を表すもの。本研究で使ったコーパス及び大野晋・浜西正人『類語新辞典』を考察した結果、人物描写における日本語形容詞は次のように整理される。

3.1 容貌・姿態を表わすもの

容貌・姿勢を表わす日本語形容詞には、「愛嬌が良い、愛くるしい、愛らしい、青黒い、蒼白い、明るい、浅ましい、浅黒い、婀娜っぽい、あどけない、哀れっぽい、厳つい、厳めしい、勇ましい、いじらしい、痛ましい、痛々しい、いとおしい、愛しい、いとけない、労しい、卑しい、嫌らしい、色が白い、色っぽい、初々しい、薄汚い、美しい、うら若い、麗しい、襟首が薄黒い、雄々しい、可笑しい、犯し難い、奥床しい、男くさい、男らしい、重々しい、面白い、面憎い、女っぽい、女らしい、女臭い、かあいらしい、顔が

大きい、顔が良い、顔色が青い、恰好好い、格好いい、恰幅がいい、髪が長い、可愛い、可愛げがない、可愛らしい、感じがいい、気位が高い、汚い、汚らしい、際どい、暗い、黒い、化粧が濃い、気高い、険しい、神々しい、小面が憎い、小面憎い、小憎らしい、小汚い、心憎い、しおらしい、爺むさい、姿勢がいい、しどけない、初老に近い、白い、白粉が濃い、姿が良い、スタイルがいい、西洋人臭い、育ちがいい、猛々しい、血腥い、艶っぽい、毒々しい、年が多い、生々しい、艶かしい、憎い、憎たらしい、憎らしい、憎憎しい、はしたない、額が狭い、平たい顔、風体がよくない、服装が良い、福福しい、埃臭い、頬が赤い、頬骨が高い、丸い、見苦しい、みすぼらしい、見つともない、身なりが良い、醜い、見目好い、見好い、惨い、惨たらしい、むさ苦しい、目が細い、目つきが鋭い、物々しい、優しい、安っぽい、やぼったい、床しい、40近い、凜々しい、六十近い、若い、若々しい、侘しい」などがある。容貌関係の語は容貌か人相を表すが、姿勢関係のものは上品、下品、威厳、美麗、男性的、魅惑的、可愛い、憎げ、滑稽、若氣などの特徴を表す。

3.2 体格・体力を表わすもの

体格・体力を表わす形容詞には「足が長い、足が悪い、篤い、甘酸っぱい（体臭）、栄養がいい、大きい、おなかが大きい、男性ホルモンがおおい、重たい、肩幅が広い、か細い、か弱い、軽い、毛深い、元気がいい、子供が出来にくい、背が高い、背が低い、逞しい、小さい、強い、でっかい、肉付きがいい、腹が平たい、日向臭い、ひ弱い、太い、細い、細っこい、弱い、弱々しい」などが見られる。

3.3 身振り・態度を表わすもの

「熱い、脂っこい、荒い、荒っぽい、荒々しい、慌しい、潔い、寝聰い、勇ましい、忙しい、うまい、煩い、大きい、雄々しい、大人しい、大人っぽい、重々しい、甲斐甲斐しい、影が薄い、喧（かまびす）しい、軽々しい、甲高い、気軽い、気忙しい、仰々しい、くだくだしい、口うるさい、口が悪



い、口喧しい、口幅ったい、くどい、くどくどしい、陰しい、好奇心が強い、興奮しやすい、小うるさい、声が高い、声が深い、心無い、腰が弱い、事々しい、小喧しい、さり気無い、自信ない、舌たるい、しちくどい、しつこい、済い、しぶとい、執念深い、しょっぱい、尻が重い、信仰心が篤い、信心深い、すばしこい、すばしこい、素早い、せせこましい、せわしい、忙しない、そそかしい、他愛無い、だらしない、茶目らしい、慎み深い、罪深い、儉しい、手っ取り早い、手ばしこい、手早い、手荒い、手緩い、度し難い、何心ない、何気ない、生温い、抜けない、鈍い、鈍臭い、ねつい、熱っぽい、粘り強い、のろい、はしこい、はしたない、まだるっこい、間緩い、まめまめしい、回りくどい、身軽い、目敏い、物臭い、用心深い、喧(やかま)しい、柔らかい、凜々しい、わざとらしい、態とがましい」などは、人間の物事に対処する際の身なりの特質(機敏、乱暴、穏和、愁然、佛然、話し振り、目付きなど)や、態度の特徴(熱心、積極的、消極的、執拗、入念、慎重、軽率、性急、真面目、勇敢、贅沢など)を表わす形容詞である。なお、「甲高い(声)、高い(悲鳴)、低い(声)」なども話し振り関係のものとして、この項目に入れることにする。

3.4 対人態度を表わすもの

対人関係を表す日本語形容詞には、「愛想がいい、温かい、頭が低い、頭が高い、厚い、厚かましい、当て付けがましい、甘い、色好い、薄い、疎い、疎疎しい、恭しい、縁遠い、遠慮ない、遠慮深い、おこがましい、押し付けがましい、男に甘い、思いやり深い、お安くない、仮借ない、辛い、きつい、気障っぽい、厳しい、気まずい、気安い、濃い、小賢しい、腰が低い、腰が高い、こつ酷い、心が広い、心安い、心無い、差し出がましい、鹿つめらしい、親しい、しゃらくさい、白々しい、すげない、素っ気無い、空々しい、近い、近しい、血が冷たい、慎ましい、冷たい、つれない、手厚い、手厳しい、手酷い、手緩い、手回しが良い、同情心が深い、遠い、刺々しい、情け深い、生緩い、馴れ馴れしい、にべもない、如才ない、緩(ぬる)い、腹が太い、酷い、人がいい、人がよい、人懐っこい、水臭い、惨い、慘たらしい、



睦まじい、喧しい、優しい、緩（ゆる）い、余所余所しい、寄り付き難い、了見が狭い」などの語が見られる。それぞれの語は人間の対人態度における「有縁、無縁、親疎、愛想、無愛想、親切、不親切、残酷、寛大、厳重、高慢、丁重」などの一面を表わす。

3.5 性格を表わすもの

人間の性格は大体、習性、温和、善良、無神經、無欲、強情、剛健、氣長、陽気というように分類されるが、日本語における性格を表わす形容詞には、次のような語が考察された。

明るい、飽きっぽい、あくどい、浅ましい、頭が固い、厚かましい、あどけない、甘ったるい、怪しい、荒い、荒っぽい、いい、いかがわしい、いけすかない、いけない、いけ図々しい、意地汚い、意志が強い、卑しい、陰気臭い、疑い深い、えげつない、大人しい、おめでたい、堅い、堅苦しい、角が多い、角々しい、我慢強い、がめつい、勘定高い、感じやすい、気がいい、気が多い、気が長い、気が弱い、気が強い、気性が強い、気性が激しい、気忙しい、気強い、気立てがいい、汚い、気風がいい、気前がいい、気難しい、きつい、肝が小さい、清い、清しい、義理堅い、くだらない、暗い、計算高い、汚らわしい、けち臭い、心が正しい、心が弱い、心が広い、心のひだが深い、心弱い、小賢しい、狡（こす）い、こすからい、細かい、子供っぽい、さがない、さくい、さもししい、算用高い、自制心が乏しい、自制心が強い、自尊心が高い、渋い、しぶとい、情が怖い、しょうがない、上昇志向が強い、しょっぱい、尻腰がない、自立心が強い、しわい、神經が太い、心臓が弱い、心臓が強い、辛抱強い、図々しい、凄まじい、図太い、ざるい、正義感が強い、正義感に厚い、世知辛い、逞しい、打算高い、猛々しい、面の皮が厚い、強い、抵抗力が弱い、手が長い、涙脆弱い、根強い、野太い、激しい、鼻っぱしが強い、鼻柱が強い、腹がない、腹汚い、腹黒い、



ふがいない、ふてぶてしい、太い、偏見が強い、骨っぽい、丸い、
みみっちい、物堅い、物欲しい、脆い、優しい、善い、欲深い、汚
れ多い、弱い、理屈っぽい、惰気が強い、分かりがいい、忘れっぽ
い、悪い、悪賢い

3.6 才能を表わすもの

「力、賢愚、学識、趣味、巧拙」など、人間の才能を表わす形容詞は次の
ようである。

青い、青臭い、明るい、あざとい、頭がいい、頭がおかしい、頭が
よい、頭が弱い、頭が悪い、疎い、巧い、益体もない、偉い、幼い、
大人気ない、覚えがめでたい、愚かしい、賢い、か弱い、カンがい
い、感が鈍い、瘤が強い、頑是無い、機械に弱い、記憶よい、ぎご
ちない、教養が高い、教養深い、口が巧い、口が重い、口が軽い、
口堅い、嘴が黄色い、口脇が白い、暗い、詳しい、心無い、コロッ
ケがうまい、賢(さか)しい、敏い、趣味が良い、素人っぽい、す
ごい、頭脳の働きがいい、素晴らしい、鋭い、世知賢い、俗っぽい、
嗜み深い、たどたどしい、だらしない、力が強い、力強い、乳臭い、
拙(つたな)い、強い、出来がよい、出来が悪い、手ごわい、年甲斐
もない、鈍い、ふさわしい、拙(まず)い、耳が早い、耳聰い、
目が早い、目が高い、目敏い、ものすごい、物見高い、弱い、らち
もない、悪賢い

3.7 社会地位を表わすもの

人間は社会生活を営んでいるが、それぞれの社会地位はまちまちである。
「危ない、危うい、著しい、忙しい、忌まわしい、卑しい、運がいい、得難
い、縁起がいい、男運がわるい、外出がむずかしい、顔が広い、学歴が高い、
かけがいがない、数少ない、幸薄い、しがない、仕事が多い、所得が多い、



忙わしい、忙わしない、たつとい、賃金が低い、恙無い、尊い、名高い、貧乏臭い、懐が寒い、懐が暖かい、間がいい、間が悪い、貧しい、身分が低い、身分が高い、身持ち方正しい、珍しい、安い、労働率がひくい、労働機会が少ない」などはそういう「貴賤、貧富、運命、禍福、安否、繁忙」などの社会地位を表す日本語形容詞である。

3.8 感情を表わすもの

人間の感情を表す日本語形容詞は次のようである⁸。

愛らしい、明るい、飽き足りない、味気ない、阿呆らしい、哀れ深い、有り難い、如何わしい、息苦しい、憤ろしい、寝苦しい、いけ好かない、いじらしい、痛い、居た堪らない、愛おしい、愛しい、厭わしい、訝しい、忌まわしい、忌み忌みしい、怪しい、嫌らしい、苛立たしい、胡散臭い、疑わしい、後ろ暗い、後ろめたい、薄気味悪い、鬱陶しい、疎ましい、うら恥ずかしい、羨ましい、うるさい、恨めしい、麗しい、憂い、嬉しい、憂わしい、おかしい、おぞましい、可笑しい、惜しい、恐れ多い、恐ろしい、おっかない、覚束無い、重い、重たい、思いがけない、重苦しい、面白い、面白おかしい、面映い、思わしい、堅苦しい、辱ない、片腹痛い、悲しい、敵わない、軽い、可愛い、聞き苦しい、汚らわしい、気強い、気遣わしい、気恥ずかしい、気味悪い、気持ちがいい、気持ち悪い、極まり悪い、気安い、虚榮心が強い、興味深い、臭い、操ったい、口惜しい、暗い、悔しい、狂おしい、苦しい、気疎い、解せない、煙たい、煙ったい、恋しい、小気味良い、子供が欲しい、小恥ずかしい、小難しい、好ましい、好もし、心地好い、心安い、心苦しい、心強い、心細い、心許ない、快い、怖い、寂しい、淋しい、慕わしい、

⁸ 人間の感情を表す日本語形容詞は、また歓喜、好感、安心、興味、滑稽、残念、苦惱、嫌悪、恐怖、羞恥、立腹、罪惡のように下位分類される。詳しくは賴（2006）を参照されたい。



嫉妬心が強い、嫉妬深い、七面倒臭い、忍びない、慈悲深い、情が深い、所在無い、白々しい、尻攢ゆい、焦れったい、辛氣臭い、凄い、末恐ろしい、末頼もしい、清清しい、ストレス多い、術無い、済まない、切ない、詮方無い、素っ気無い、空恐ろしい、空恥ずかしい、大事無い、楽しい、頼み少ない、頼もしい、頼り無い、堪らない、だるい、力強い、ちゃんちら可笑しい、都合がいい、詰まらない、辛い、照れ臭い、とんでもない、名残惜しい、情けない、嘆かわしい、謎が多い、謎っぽい、懐かしい、悩ましい、苦い、苦苦しい、憎い、憎たらしい、憎らしい、ぬかみそ臭い、願わしい、妬ましい、妬み深い、残り多い、残り惜しい、望ましい、望みが大きい、呪わしい、はかない、はかばかしい、馬鹿らしい、馬鹿臭い、馬鹿馬鹿しい、歯痒い、恥ずかしい、鼻持ちならない、腹立たしい、晴れがましい、晴れ晴れしい、プライドが高い、誇らしい、誇り高い、欲しい、微笑ましい、貧しい、待ち遠しい、見苦しい、見つともない、未練がましい、難しい、胸糞悪い、目映ゆい、面目無い、面倒臭い、申し訳ない、勿体無い、もどかしい、物憂い、物恐ろしい、物悲しい、物狂おしい、物寂しい、物凄い、物足りない、遣り切れない、疚しい、遣る方無い、遣る瀬無い、床しい、煩わしい、悪い

3.9 人間関係を表すもの

以上述べた外に、誰かにとって、ある女が「新しい女」か「古い女」かという表現も見られる。本稿ではその「新しい、古い」を、人間関係を表す語と見なすことにする。

3.10 人物描写における形容詞の分布

以上述べた人物描写の日本語形容詞は表1のようである。意味分類別に見ると、語数が一番多いのは感情表現語で、一番少ないので人間関係表現語で

ある。

(表1) 意味分類から見た人物描写の日本語形容詞

意味分類	異なり語数	意味分類	異なり語数
容貌・姿態	125	才能	73
体格・体力	31	社会地位	39
身振り・態度	98	感情	204
対人態度	79	人間関係	2
性格	130	合計	781

4. 女性描写に用いられる日本語形容詞

各考察資料から抽出した「女」と共起する形容詞を意味分類別で整理すると、次のようになる。

4.1 容貌・姿態を表すもの

女性の容貌・姿態を表す形容詞は、次の73語が考察された。

青黒い、蒼白い、明るい、浅黒い、色が白い、白粉が濃い、顔色が青い、顔が良い、顔が大きい、髪が長い、暗い、黒い、化粧が濃い、白い、艶っぽい、額が狭い、頬が赤い、頬骨が高い、丸い、目が細い、目つきが鋭い、愛嬌の良い、愛らしい、仇っぽい、いとけない、愛しい、嫌らしい、色っぽい、薄汚い、美しい、襟首が黒い、奥ゆかしい、面白い、女臭い、女っぽい、女らしい、格好いい、恰幅がいい、可愛い、可愛げがない、可愛らしい、かあいらしく、感じがいい（感じがよくない）、気位が高い、気高い、神々しい、心憎い、小面が憎い、しおらしい、姿勢がいい、姿が良い、スタイルがいい、西洋人臭い、育ちがいい、猛々しい、年が多い、生々しい、なまめかしい、憎い、平たい（女の顔）、風体がよくない、服装が良い、



埃臭い、みすぼらしい、身なりが良い、醜い、ゆかしい、若い（若くない）、若々しい、初老に近い、40近い、六十近い、ホルモンがおおい

73語の使用回数は延べ1825あるが、上位10語は「若い、美しい、可愛い、可愛らしい、髪が長い、奥床しい、気位が高い、（皮膚が）白い、明るい、醜い」である。そのうち、使用回数が一番多い「若い」は1410回も使用されている。次の「美しい」は160回である。「可愛い」と「可愛らしい」は合わせて83回である。一回しか使用されていないのは43語あり、58.90%を占めている。

4.2 体格・体力を表すもの

「女」「女の子」と共起する体関係の形容詞は以下の31語（延べ語数115）である。「甘酸っぱい（女の体臭）」は厳密に言えば体臭関係の表現であるが、便宜上、この項目に入れる。

足が長い、足が悪い、甘酸っぱい（女の体臭）、栄養がいい、大きい、おなかが大きい、重たい、肩幅が広い、か細い、か弱い、軽い、毛深い、元気がいい、子供ができにくい、背が高い、背が低い、体格がいい、背が高い、逞しい、小さい、ちいちゃい、でっかい、肉付きがよい、日向臭い、平たい（女の腹）、太い、細い、細っこい、柔らかい、弱い、弱々しい

使用回数が多いのは「小さい（24回）、背が高い（21回）、弱い（12回）、大きい（7回）、か弱い（6回）、逞しい（6回）、元気がいい（4回）、弱々しい（4回）」である。一回しか使用されていないのは16語（51.61%）ある。前項の容貌・姿勢に比べると、ずんぶん貧弱な表現のように見られる。

4.3 身振り・態度を表すもの

「女」の身振り、態度を表す形容詞は30語ある。

うまい、うるさい、影が薄い、喧しい、甲高い、口うるさい、小うるさい、声が高い、声が深い、すばしっこい、喧しい、熱い、勇ましい、潔い、忙しい、大人っぽい、かいがいしい、好奇心が強い、興奮しやすい、自信ない、しつこい、信仰心が篤い、信心深い、そそっかしい、罪深い、度し難い、熱っぽい、はしたない、茶目らしい、用心深い

延べ語数は51あるが、そのうち、多いのは声を表す「甲高い（6回）」と「罪深い（5回）、うるさい（4回）」である。7割の語は1回だけ用いられている。

4.4 対人態度を表すもの

女性描写における対人態度を表す形容詞は19語ある。

愛想がいい、あたたかい、甘い、遠慮深い、男に甘い、思いやり深い、厳しい、親しい、近しい、血が冷たい、慎ましい、冷たい、手回しが良い、同情心が深い、ひどい、人がいい、人がよい、人なつっこい、寄り付き難い

上記の語の使用回数は延べ52あるが、そのうち割と多いのは「親しい（18回）、ひどい（7回）、厳しい（4回）、慎ましい（4回）」である。

4.5 性格を表すもの

「女」の性格を表わす形容詞は63語考察された。

浅ましい、甘ったるい、怪しい、厚かましい、いい、いかがわしい、いけすかない、いけない、意志が強い、大人しい、堅い、堅苦しい、角が多い、感じやすい、気がいい、気が多い、気が強い（気が強くない）、気が弱い、気性が激しい、気性が強い、気立てがいい、きつい、気風がいい、気前がいい、清しい、くだらない、計算高い、汚らわしい、心が正しい、心が広い、心が弱い、心のひだが深い、



子供っぽい、自制心が強い、自制心が乏しい、自尊心が高い、情が怖い、しょうがない、自立心が強い、上昇志向が強い、神経が太い、辛抱強い、ずうずうしい、凄まじい、するい、正義感が強い、正義感に厚い、強い、抵抗力が弱い、根強い、激しい、ふてぶてしい、偏見が強い、物欲しい、脆い、優しい、よい（よくない）、欲深い、汚れ多い、理屈っぽい、悟気が強い、分かりがいい、悪い（悪くない）

延べ語数は 353 あるが、上位 10 語は「いい（84 回）、強い（55 回）、悪い（47 回）、優しい（44 回）、おとなしい（11 回）、よい 10 回」、気が強い（8 回）、激しい（6 回）、いかがわしい（4 回）、くだらない（4 回）」である。

4.6 才能を表すもの

「女」の才能は以下のような形容詞で修飾されている。

頭がいい、頭がおかしい、頭がよい、頭が弱い、頭が悪い（頭が悪くない）、偉い、幼い、覚えがめでたい、賢い、カンがいい、瘤が強い、感が鈍い、記憶よい、機械に弱い、教養が高い、教養深い、詳しい、コロッケがうまい、趣味が良い、素人っぽい、すごい、頭脳の働きがいい、素晴らしい、俗っぽい、嗜み深い、だらしない、力が強い、乳臭い、出来がよい、出来が悪い、手ごわい、ふさわしい、ものすごい、物見高い

異なり語数は 34、延べ語数は 105 であるが、よく使用されたのは「素晴らしい（24 回）、賢い（13 回）、偉い（9 回）、すごい（7 回）、相応しい（7 回）、（---に）詳しい（5 回）」である。

4.7 社会地位を表すもの

女性の社会地位に用いられる形容詞は 1 回きりの使用が多く考察されたが、

合わせて次のような表現が見られる。

著しい、卑しい、運がいい、得難い、縁起がいい、学歴が高い、かけがいがない、数少ない、幸薄い、しがない、仕事が多い、所得が多い、尊い、貧乏臭い、貧しい、身分が高い、身分が低い、身持ち方正しい、珍しい、安い、男運がわるい、外出がむづかしい、労働率がひくい、賃金が低い、労働機会が少ない

全部で 25 語あるうち、「貧しい」(12 回) が一番使用回数が多い。それに次いで、「日本の数少ない女性監督のひとり」「大谷奈津江さん(27)は数少ない女性スタントマン」のように、「数少ない」は 9 回使われている。次は「身分が高い(5回)、珍しい(5回)」の順になる。

4.8 感情を表すもの

「女」と共起する感情表現の形容詞は以下の通りである。

味気ない、哀れ深い、いじらしい、痛い、惜しい、おぞましい、恐ろしい、おっかない、悲しい、気持ちがいい、虚榮心が強い、口惜しい、悔しい、子供が欲しい、好ましい、好もしい、寂しい、淋しい、嫉妬心が強い、嫉妬深い、慈悲深い、情が深い、じれったい、ストレス多い、切ない、頼もしい、頼りない、だるい、都合がいい、つまらない、とんでもない、情けない、謎が多い、謎っぽい、懐かしい、ぬかみそ臭い、妬み深い、望みが大きい、はかない、はかばかしい(はかばかしくない)、歯痒い、プライドが高い、誇り高い、わざらわしい

延べ語数における上位 10 語は「恐ろしい(8回)、寂しい(6回)、つまらない(6回)、嫉妬深い(5回)、いじらしい(4回)、悔しい(4回)、都合がいい(4回)、慈悲深い(3回)、切ない(3回)、はかない(3回)」である。



4.9 人間関係を表すもの

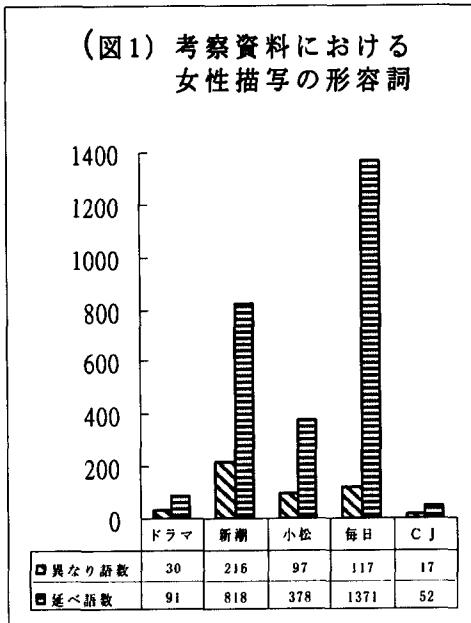
本研究の考察では、人間関係を表す「新しい、古い」は合わせて 59 回使用されている。「新しい」は 51 回、「古い」は 8 回と、2 語とも延べ語数が高いほうである。

4.10 女性描写における形容詞の分布

各資料における女性描写の形容詞は計 321 語あり、使用回数は延べ 2710 回である（図 1 参照）。図 1 を見て分かるように、資料の性質、内容の規模によって女性描写に用いられる形容詞がだいぶ違っている。異なり語数の順番では「新潮 > 毎日 > 小松 > ドラマ > C J」になる。それぞれの語数は 216、117、97、30、17 である。延べ語数の順番では、「毎日 > 新潮 > 小松 > ドラマ > C J」（1371 語、818 語、378 語、91 語、52 語）になる。つまり、異なり語数で一番多いのは『新潮文庫の 100 冊』であるが、使用回数、つまり延べ語数で一番多いのは『毎日新聞』である。そして、日本語教育教材においては、「女」と共起する形容詞は異なり語数も延べ語数も少ないほうである。

ちなみに、社会科学関係の文献 92 冊からとった文章による東京外国語大学留学生日本語教育センター『中・上級社会科学読解教材テキストバンク』（1998）では、「女」と共起する形容詞は僅か「若い」（6 回）と「低い（経済的地位）の 2 語しかいない。

（図 1）考察資料における女性描写の形容詞



(表2) 意味分類から見た女性描写の日本語形容詞

意味分類	異なり語数	延べ語数	意味分類	異なり語数	延べ語数
容貌・姿態	73	1825	才能	34	105
体格・体力	31	115	社会地位	25	59
身振り・態度	30	51	感情	44	91
対人態度	19	52	人間関係	2	59
性格	63	353	合計	321	2710

意味分類別で見てみると、容貌・姿勢を表す形容詞は異なり語数も延べ語数も一番多い。そして、異なり語数で一番少いのは人間関係を表す形容詞であるが、延べ語数で一番少いのは身振り・態度を表す形容詞である（表2参照）。

各種類における使用率上位3語及びその使用回数は表3のようである。但し、同じ使用回数の語もあるので、上位3語と言っても、対人態度、社会地位の種類では4語挙げた。そして、人間関係の種類は2語しかないので、1位の「新しい」だけを挙げた。表3によれば、上位語の延べ使用回数は2075であるが、一番多く用いられたのは容貌・姿勢を表すものである。



(表3) 女性描写形容詞各種類における使用回数上位語

意味分類	上位語（使用回数）	延べ回数
容貌姿態	若い (1410回)、美しい (160回)、可愛い (66回)、	1636
体格体力	小さい (24回)、背が高い (21回)、弱い (12回)	57
身振態度	甲高い (6回)、罪深い (5回)、うるさい (4回)	15
対人態度	親しい (18回)、ひどい (7回)、厳しい (4回)、 慎ましい (4回)	33
性格	いい (84回)、強い (55回)、悪い (47回)、	186
才能	素晴らしい (24回)、賢い (13回)、偉い (9回)、	46
社会地位	貧しい (12回)、数少ない (9回)、身分が高い (5回)、 珍しい (5回)	31
感情	恐ろしい (8回)、寂しい (6回)、つまらない (6回)、	20
人間関係	新しい (51回)	51
合 計		2075

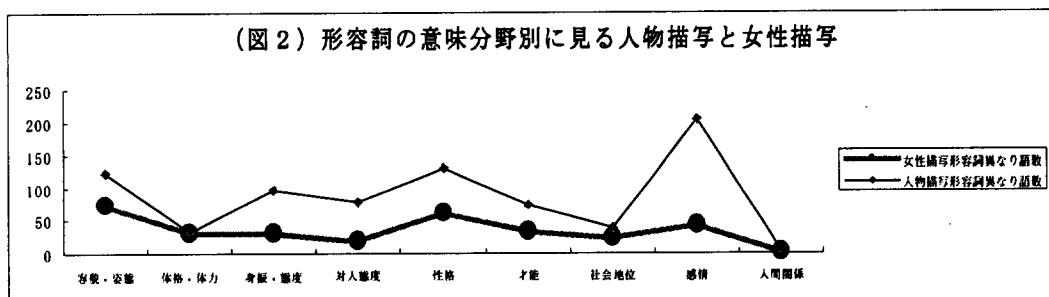
そして、全体で使用率上位20語は表4のようであるが、その使用回数は全部10回以上（10回を含む）である。そして、延べ回数は2111であり、全体の77.90%を占めている。つまり、日本語における女性描写形容詞の多くはこの21語に集中しているわけである。



(表4) 日本語における女性描写上位語(延べ回数順)

順番	上位語	延べ回数	順番	上位語	延べ回数	順番	上位語	延べ回数
1	若い	1410	8	優しい	44	15	弱い	12
2	美しい	160	9	小さい	24	15	貧しい	12
3	いい	84	9	素晴らしい	24	16	髪が長い	11
4	可愛い	66	11	背が高い	21	16	奥ゆかしい	11
5	強い	55	12	親しい	18	16	大人しい	11
6	新しい	51	13	可愛らしい	17	17	気位が高い	10
7	悪い	47	14	賢い	13	17	よい	10

又、人物描写全体に比べると、女性描写で用いられる形容詞は少ないほうである(図2参照)。



5. 形容詞表現による女性描写の評価性

評価性から見た場合、日本語形容詞には、人を褒めるようなプラスイメージを持つものと、人を貶すようなマイナスイメージを持つものと、プラスイ



メージもマイナスイメージも持たない中立的なものがある⁹。本研究で考察した女性を修飾する日本語形容詞はその評価性によって、表5のように下位分類される。

(表5) 女性描写形容詞の意味評価性

-	1	青黒い
-	1	蒼白い
+	1	明るい
△	1	浅黒い
△	1	色が白い
△	1	白粉が濃い
-	1	顔色が青い
+	1	顔が良い
△	1	顔が大きい
△	1	髪が長い
-	1	暗い
-	1	黒い
-	1	化粧が濃い
△	1	白い
+	1	艶っぽい
△	1	額が狭い
△	1	頬が赤い
△	1	頬骨が高い
△	1	丸い
△	1	目が細い
-	1	目つきが鋭い
+	1	愛嬌の良い
+	1	愛らしい
+	1	仇っぽい
+	1	いとけない

+	1	いとしい
-	1	いやらしい
+	1	色っぽい
-	1	薄汚い
+	1	美しい
-	1	襟首が黒い
+	1	奥ゆかしい
+	1	面白い
-	1	女臭い
+	1	女っぽい
+	1	女らしい
+	1	かあいらしこ
+	1	格好いい
+	1	恰幅がいい
+	1	可愛い
+	1	可愛げがない
+	1	可愛らしい
+	1	感じがいい
-	1	感じがよくない
+	1	気位が高い
+	1	気高い
+	1	神々しい
+	1	心憎い
-	1	小面が憎い
+	1	しおらしい

+	1	姿勢がいい
+	1	姿が良い
+	1	スタイルがいい
-	1	西洋人臭い
+	1	育ちがいい
+	1	猛々しい
△	1	年が多い
-	1	生々しい
+	1	なまめかしい
-	1	憎い
-	1	風体がよくない
+	1	服装が良い
-	1	埃臭い
-	1	みすぼらしい
+	1	身なりが良い
-	1	醜い
+	1	ゆかしい
+	1	若い
△	1	若くない
+	1	若々しい
△	1	初老に近い
△	1	40近い
△	1	六十近い
△	2	男性ホルモンが多い
△	2	足が長い

⁹ 日本語形容詞の評価性について、詳しくは浅田（1999）、頬（2005、2006b）を参照されたい。



△	2	足が悪い
+	2	甘酸っぱい女の体臭
+	2	栄養がいい
△	2	大きい
△	2	おなかが大きい
△	2	重たい
△	2	肩幅が広い
-	2	か細い
-	2	か弱い
△	2	軽い
-	2	毛深い
+	2	元気がいい
-	2	子供が出来にくい
△	2	背が高い
△	2	背が低い
△	2	体格がいい
△	2	背が高い
+	2	逞しい
△	2	小さい
△	2	ちいちゃい
△	2	でっかい
+	2	肉付きがよい
-	2	日向臭い
+	2	平たい腹
-	2	平たい顔
△	2	太い
△	2	細い
-	2	細っこい
+	2	柔らかい
△	2	弱い
-	2	弱々しい
+	3	うまい
-	3	うるさい
-	3	影が薄い
-	3	喧しい

+	3	甲高い
-	3	口うるさい
-	3	小うるさい
△	3	声が高い
+	3	声が深い
△	3	すばしっこい
-	3	喧しい
△	3	熱い
+	3	勇ましい
+	3	潔い
△	3	忙しい
+	3	大人っぽい
+	3	かいがいしい
+	3	好奇心が強い
-	3	興奮しやすい
-	3	自信ない
-	3	しつこい
△	3	信仰心が篤い
+	3	信心深い
-	3	そそっかしい
-	3	罪深い
-	3	度し難い
-	3	熱っぽい
-	3	はしたない
-	3	茶目らしい
+	3	用心深い
+	4	愛想がいい
+	4	あたたかい
-	4	甘い
+	4	遠慮深い
-	4	男に甘い
+	4	思いやり深い
+	4	厳しい
+	4	親しい
+	4	近しい

-	4	血が冷たい
+	4	慎ましい
-	4	冷たい
+	4	手回しが良い
+	4	同情心が深い
-	4	ひどい
+	4	人がいい
+	4	人が好い
+	4	人なつっこい
-	4	寄り付き難い
-	5	浅ましい
-	5	甘ったるい
-	5	怪しい
-	5	厚かましい
+	5	いい
-	5	いかがわしい
-	5	いけすかない
-	5	いけない
+	5	意志が強い
+	5	大人しい
+	5	堅い
-	5	堅苦しい
-	5	角が多い
△	5	感じやすい
+	5	気がいい
-	5	気が多い
-	5	気が強い
-	5	気が強くない
-	5	気が弱い
-	5	気性が激しい
-	5	気性が強い
+	5	気立てがいい
-	5	きつい
+	5	気風がいい
+	5	気前がいい



日語女性描寫形容詞「～い(女)」探究

+	5	清しい
-	5	くだらない
-	5	計算高い
-	5	汚らわしい
+	5	心が正しい
+	5	心が広い
-	5	心が弱い
+	5	心のひだが深い
-	5	子供っぽい
+	5	自制心が強い
-	5	自制心が乏しい
△	5	自尊心が高い
-	5	情が怖い
-	5	しょうがない
+	5	自立心が強い
-	5	神経が太い
+	5	辛抱強い
-	5	ずうずうしい
-	5	凄まじい
-	5	ずるい
+	5	正義感が強い
+	5	正義感に厚い
+	5	強い
+	5	根強い
-	5	激しい
-	5	ふてぶてしい
-	5	偏見が強い
-	5	物欲しい
+	5	脆い
+	5	優しい
+	5	よい
-	5	よくない
-	5	欲深い
-	5	汚れ多い
-	5	理屈っぽい

-	5	悟気が強い
+	5	分かりがいい
-	5	悪い
△	5	悪くない
+	5	上昇志向が強い
-	5	抵抗力が弱い
+	6	頭がいい
-	6	頭がおかしい
+	6	頭がよい
-	6	頭が弱い
-	6	頭が悪い
△	6	頭が悪くない
+	6	偉い
△	6	幼い
+	6	覚えがめでたい
+	6	賢い
+	6	カンがいい
-	6	瘤が強い
-	6	感が鈍い
+	6	記憶よい
-	6	機械に弱い
+	6	教養が高い
+	6	教養深い
+	6	詳しい
+	6	コロッケがうまい
+	6	趣味が良い
-	6	素人っぽい
+	6	すごい
+	6	頭脳の働きがいい
+	6	素晴らしい
-	6	俗っぽい
+	6	嗜み深い
-	6	だらしない
+	6	力が強い
-	6	乳臭い

+	6	出来がよい
-	6	出来が悪い
+	6	手ごわい
+	6	ふさわしい
+	6	ものすごい
+	6	物見高い
△	7	著しい
-	7	卑しい
+	7	運がいい
+	7	得難い
+	7	縁起がいい
+	7	学歴が高い
+	7	かけがいがない
△	7	数少ない
-	7	幸薄い
-	7	しがない
△	7	仕事が多い
+	7	所得が多い
+	7	尊い
-	7	貧乏臭い
+	7	身分が高い
-	7	身分が低い
+	7	身持ち方正しい
+	7	珍しい
-	7	安い
-	7	男運がわるい
-	7	外出がむづかしい
-	7	労働率がひくい
-	7	賃金が低い
-	7	労働機會が少ない
-	8	味気ない
-	8	哀れ深い
-	8	いじらしい
-	8	痛い
-	8	惜しい



-	8	おぞましい
-	8	恐ろしい
-	8	おっかない
-	8	悲しい
+	8	気持ちがいい
-	8	虚栄心が強い
-	8	口惜しい
-	8	悔しい
△	8	子供が欲しい
+	8	好ましい
+	8	好もしい
-	8	寂しい
-	8	淋しい
-	8	嫉妬心が強い
-	8	嫉妬深い

+	8	慈悲深い
+	8	情が深い
-	8	じれったい
-	8	ストレス多い
-	8	切ない
+	8	頼もししい
-	8	頼りない
-	8	だるい
-	8	都合がいい
-	8	つまらない
-	8	とんでもない
-	8	情けない
△	8	謎が多い
△	8	謎っぽい
+	8	懐かしい

-	8	ぬかみそ臭い
-	8	妬み深い
+	8	望みが大きい
-	8	はかない
+	8	はかばかしい
-	8	はかばかしくない
-	8	歯痒い
△	8	プライドが高い
+	8	誇り高い
-	8	貧しい
-	8	わざらわしい
△	9	新しい
△	9	古い

注：「+」はプラスイメージ、「-」はマイナスイメージ、「△」は中立イメージを表す。

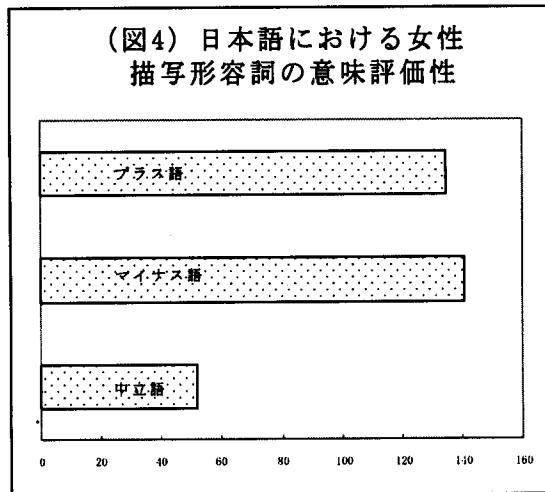
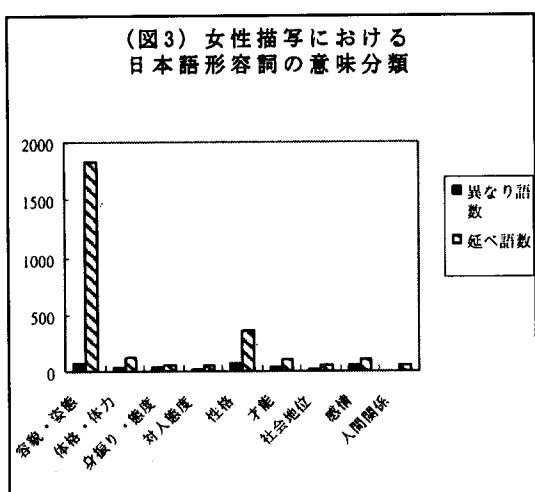
表5によれば、女性描写形容詞はプラスイメージの表現は135語、マイナスイメージの表現は141語、中立的な表現は52語ある¹⁰。浅田(1999)では、現代日本語形容詞のうち、尊敬・尊重・敬意・賞賛のニュアンスを持つのは28語、侮蔑・軽蔑・軽視のニュアンスを持つのは108語、と述べられているが、女性描写に用いられる形容詞はやはりマイナス表現がやや多いようである。

¹⁰ 形容詞表現の評価性を考察する際、肯定形か否定形によって評価が違うようになることが考えられるので、ここでは「感じがいい、感じがよくない」「若い、若くない」「気が強い、気が強くない」「よい、よくない」「悪い、悪くない」「頭が悪い、頭が悪くない」「はかばかしい、はかばかしくない」などをそれぞれ1語として計算した。



6. むすび

意味分類から見た女性描写の日本語形容詞は次の図3である。そして、その意味評価性は図4、その上位語は表6のように分類される。



(表6) 日本語における女性描写上位語(意味分類別)

意味分類	上位語	延べ回数	意味分類	上位語	延べ回数
容貌姿態	若い	1410	性格	いい	84
	美しい	160		強い	55
	可愛い	66		悪い	47
	可愛らしい	17		優しい	44
	髪が長い	11		大人しい	11
	奥ゆかしい	11		よい	10
	気位が高い	10		素晴らしい	24
体格体力	小さい	24	才能	賢い	13
	背が高い	21		社会地位	貧しい
	弱い	12		感情	0
身振態度		0	対人関係	新しい	51
対人態度	親しい	18	合計		2111

以上の図表を見て分かるように、女性描写形容詞に見られる日本語の女性観は次のようにまとめられよう。

日本語では、「いい女」がよく取り上げられているが、いわゆる「いい女」とは何か、その定義は人によって違うことが考えられよう。ただし、ここまで考察してきたデータによれば、女性の才能や社会地位よりその容貌・姿態がもっと重視されているようである。就中、女性の若さが注目される的になる。娘盛りを賞賛する「番茶も出花」という諺もそれを物語っていると言えよう。次に容貌の醜い女性より美しい女性のほうがよく取り上げられている。それから、女性はやはり「可愛らしさ」がなければ喜ばれないようである。なお、「古い女」よりも「新しい女」がずっと多く描かれている。そ



すると、「若・美・良・可愛・新」は日本語における女性評価の基準だと判断されよう。そして、「強い女」という女性描写表現もよく用いられるが、それは必ずしもプラス評価とは限らない。

ちなみに、日本では再任を含め、10代8人の女帝もいた¹¹にもかかわらず、男系に固執して、皇室に男児が誕生したからといって女性天皇の認否を核にした皇室典範改正論議が見送られたし、女性を子どもを産む機械や装置に例えた発言をした厚生労働相もいる¹²。上に述べた日本語における女性観は、このような日本の社会通念の表れだと言っても過言ではなかろう。

外国語教育における最終的な目標は異文化理解、異文化交流である。但し、教科書だけでは、しばしば情報不足の恐れがあると思われる。時には、コーパスを考察し、分析することによって、ふだん教科書では分からぬようなことも明らかになることが多いのではなかろうか。

考察資料

東京外国語大学留学生日本語教育センター『中・上級社会科学読解教材テキストバンク』、東京外国語大学、1998

東吳大学日本語コーパス(jp.idc.scu.edu.tw)

土曜ドラマ館（西鉄提供ラジオ番組）1997—2005年分シナリオ
(<http://www.nishitetsu.co.jp/nnr/inf/drama/>)

参考文献

浅田秀子「侮蔑と侮蔑の『形容詞』」佐藤武義編『語彙・語法の新研究』東京：明治書院、1999

荒木敏夫『日本の女性天皇』東京：小学館、2006

¹¹ 荒木（2006）による。

¹² 朝日新聞2007年1月28日による。



井出祥子『女性語の世界』東京：明治書院、1997

上野千鶴子『きっと変えられる性差別語—私たちのガイドライン』東京：三省堂、1995

大野晋・浜西正人『類語大辞典』東京：角川書店、1981

遠藤織枝編『女とことば—女は変わったか　日本語は変わったか』東京：明石書店、2001

現代日本語研究会編『女性のことば・職場編』東京：ひつじ書房、1999

国立国語研究所『『現代雑誌九十種の用語用字Ⅲ分析』東京：秀英出版、1964

ことばと女を考える会『国語辞典にみる女性差別』東京：三一書房、1985

佐々木瑞枝・他「特集：ジェンダーから見た日本語」『日本語学』第23卷第7号6月号、東京：明治書院、2004

寿岳章子『日本語と女』東京：岩波新書、1979

日本語ジェンダー学会編『日本語とジェンダー』、東京：ひつじ書房、2006

中村 明『人物表現辞典』東京：筑摩書房、1997（2004年第4刷）

中村桃子・他「特集：言語のジェンダー・スタディーズ」『月刊言語』第31卷第2号、東京：大修館、2002

飛田良文・浅田秀子『現代形容詞用法辞典』東京：東京堂、1991

宮島達夫・野村雅昭・江川清・中野洋・真田信治・佐竹秀雄『図説日本語』東京：角川書店、1982

山本そのこ「日本語絵教材に見られる男女像」『拓殖大學日本語紀要』第10号、東京：拓殖大學留学生別科、2000

賴錦雀『現代日本語形容詞の研究—台湾の日本語教育的見地から』台北：東吳大学博士論文、1996

賴錦雀「日語稱呼的文化」『東吳外語學報』第14号、台北：東吳大学、1999

賴錦雀「日本語形容詞の意味評価性をめぐって」『台湾日本語教育論文集』第9号、173-198頁、台北：台灣日語教育學會、2005

賴錦雀「合成形容詞『—深い』の意味評価性」『東吳外語學報』第22期、109-132頁、台北：東吳大學、2006a

賴錦雀「日本語ソーラスにおける感情形容詞」『台灣日本語文學報』第21



日語女性描寫形容詞「～ i(女)」探究

号、台北：台灣日本語文学会、2006b

林玉惠「日中語彙にみる性差別語」『台灣日本語文學報』第21号、台北：台灣日本語文学会、2006

日本内閣府男女参画局ホームページ：<http://www.gender.go.jp/index.html>

日本ジェンダー学会ホームページ：<http://www.s.fpu.ac.jp/tukamoto/gender.htm>

後記：

本稿は国科会 94.95 年度専題研究計画 (NSC94-2411-H-031-012, NSC95-2411-H-031-012) 研究報告の一部である。内容の一部は 2007 年 3 月 23 日、銘傳大学 2007 国際学術シンポジウム「応用語文教育の理論と実践」において、「『女』と共に起する形容詞についての一考察」という題で口頭発表したものである。

